

広  
報

# にゅうぜん

No.354

昭和62年1月1日発行  
毎月1回 1日発行  
発行所 入善町役場  
富山県入善町入膳3255  
☎0765-72-1100(〒939-06)

'87 新年号



子どものためのミュージカル  
劇団四季公演「エルリックコスモスの239時間」



## ▷◁今月のページ▷◁

- 2 …(新春座談会) 雪と私たちのいい関係を語る
- 6 …町政懇談会
- 8 …そとから見たにゅうぜん・カメラトピックス
- 10 …新春コンサート・善意の窓
- 12 …私たちの広場
- 14 …あなたと図書館・今月のさわやかさん



イメージ・アップ大作戦



# 雪と私たちの

## いい関係を語る



最近、雪を克服するとか、利用するとかといった克雪・利雪の運動が各地で盛んになってきています。  
こういつた中で、雪をテーマに座談会を開き、これからの入善町の「雪対策」の方針、あり方を探ろうというものです。



### 出席者



入善町長  
柚木春雄

司会・入善町役場秘書係長  
上原正三

(順不同)



地域ぐるみ除排雪  
オペレーター  
西島好和さん  
(舟見6区)



主婦(宮崎県出身)  
山本満子さん  
(上野3区)



新川青年会議所  
松原正昭さん  
(入善11区)



富山大学経済学部教授  
中藤康俊さん  
(富山市)

イラスト・清水俊介さん(入膳・28歳)

外来語に強くなろう

近年、マスコミなどで頻繁に使われる外来語を取り上げ、その意味を紹介していきます。今月は「チ」「ツ」「テ」行です。

# 関心が高い除雪問題

必要になる

きめ細かな対応

**司会** それでは初めに、柚木町長から本日の座談会の主旨を話していただきます。

**町長** 新年明けましておめでとうございます。すがすがしい初春をお元気で迎えになったことと存じます。本年も町民のみなさんの信頼に応えるよう、初心に返って町づくりに臨むことをお誓いします。

本日のテーマは「雪」ということですが、議会や11月の町政懇談会でも除雪問題は非常に関心が高い分野です。県では無雪害都市を目指し「雪に強いいきいき富山の創造」として、全国に先駆けた条例を作り、21世紀に向けた雪対策を展開しています。



●—ゆのき はるお—●

町でも新総合計画の中で快適な生活基盤の充実を図るため、地域ぐるみの除排雪や最新鋭の除雪機械の導入、豊富な地下水を利用した消雪などに力を入れています。雪を邪魔者扱いせず、積極的に利用するという観点から「雪を見直してみよう」ということで、みなさんにお集まりいただきました。

**司会** 自己紹介も兼ねて、日ごろ雪をどう思っているのか、伺いたいと思います。

**中藤** 岡山県出身で、北陸に住んでから15年目になります。雪が降るのを止めることはできませんが、豪雪による被害を少なくすることはできると思います。ここ数年、雪害を少なくして、もっと雪国を住みやすくしていこうという機運が盛り上がってきたことは評価してもよいでしょう。雪の問題は、雪国に住んでいる私たちが考えなければ、太平洋側の人たちに理解してもらえませんが……。とにかく雪害対策は重要ですね。

**西島** 入善町の中でも一番雪の降る舟見地区に住んでいます。現状では雪に親しむより、雪を克服する方が大事でしょう。生活の中で雪を乗り越えることができて初めて、笑顔で雪を迎えることができます。



●—にしじま よしかず—●

きるのではないのでしょうか。

**山本** 7年前に結婚して、宮崎県から入善へ来ました。やはり一番違うのは雪です。宮崎では雪が舞う程度で、除雪作業もないし、ストーブなどの光熱費もそれ程かかりません。「富山県は雪さえ降らなければ良い所なの」と、よく入善の人たちは言いますが、逆に「雪が降るからいいのでは」と考えます。水がおいしいし、山もきれいで四季の変化も楽しめます。春が来た喜びは雪国ならではの楽しみです。

**松原** 商店街で瓦屋の仕事をしていますが、年末年始になると大売り出しのシーズンを迎えます。雪が降らないとお客さんが富山や魚津へ買い物に出かけて、商店街はさっぱり売れ行きが良くないといった笑えない話もあります。他市町村と比べて市街地は融雪装置も整備されており、逆に他の町から買い物客が来るようになってもいいのですが……。

**司会** 町の除雪体制の仕組みや予算をお聞かせください。

**町長** 予算は年間約6000万円から7000万円を計上しており、道路に新雪が10センチ以上積もると除雪しています。通勤、通学路を優先し、幅員や重要度などから3種類に分け、町道約2000メートルを町職員と民間38業者で対応しています。また、除雪依頼は区長会長を通して除雪対策本部に連絡してもらう方法をとっています。

**中藤** 雪は主に北海道から九州

## 暗ずる雪のイメージ

プラス面を

PRする



●—まつばら まさあき—●

根雪を降ろした人もいました。舟見は家が建て込んでいたため、屋根雪の処理に大変困ります。どうしても川に雪を捨てざるを得ないため、雪を一度に川に流すと下流の方で雪が詰まり、※道路に川水があふれ出し、毎年、住宅に水が入る場合があります。（※ザイがつくといっている）

**町長** 陳情に行き、ザイがつくといふことを説明しても理解してもらえないというエピソードもあるくらいです。川にふたをする方法もありますが、財政難でもあるし、かといって何もしないわけにはいきません……。雪国ならではの悩みがたくさんありますね。

**松原** 町内でも8号線より上部の地区や、野中、舟見地区では入善地区の2倍以上も雪が降りますね。

**西島** 昨年の豪雪で、6回も屋

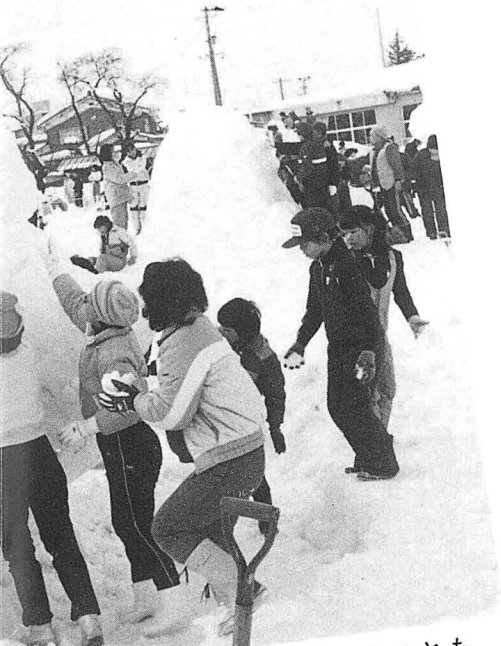
**司会** 雪が生産や流通、消費に与える影響についてはどう思われますか。

**山本** 通勤・通学時は確かに不便だと思います。買い物に行く場合にも駐車場に雪があつて、自分も含めて路上に駐車する車が多くなりますから。

**町長** 東京へ出張したときに、富山は豪雪で大変でしょう。車は通つていますか」とよく聞かれます。農道は別にしても「主要道路は除雪してあり、車が孤立することはありません」と答えると感心されます。生鮮食料品にしても、冬だからといって野菜が食べられないこともないし、入善町の交通が雪でストップしたことは一度もありません。

**西島** テレビなどで豪雪のイメージが強すぎるからではないでしょうか。

**中藤** テレビではきれいな雪景色は兼六園など石川県を放送し、



▲親子で雪に慣れ親しむことも大切です。

大雪で困っている場合は富山県を放送する場合が多いようです。もつと雪をいろんな面で利用している報道もしていただければ、雪に対するイメージも変わってくると思います。

**西島** 今年から冬季間、富山空港で長靴を貸し出すというアイデア

## 雪に親しむための企画を

### 発想の転換が必要

**司会** 各地で雪に親しむ運動が高まってきましたが、行政の一方的なやり方だけでなく、住民と一緒に取組んでいく必要があると思います。参加してもらうためにはどのような企画や方法があるとお考えですか。

アが採用され、ビジネス関係の人たちに好評だと聞いています。しかし、全体的なイメージとしてやっぱり富山は長靴がないと行けないのかというマイナス・イメージの方が大きくないかとも心配しています。雪をプラス面でPRしていく必要があると思います。

**松原** どうしても雪との戦いが表に出てしまつて、雪のイメージが暗くなつてしまふのだと思います。夏や冬を問わず、最近の子どもたちは家に閉じ込めがちです。小さいときから雪に慣れ親しむために雪のカーニバルを大々的に開いてみるのも一つの方法だと思います。運動公園で、どこにもないような大きな滑り台やかまぐらを雪で作つたり、おでんなどの屋台を出してみたりして、冬場に大人と子どもと一緒に遊べるような企画が必要だと考えています。

**山本** 入善へ来てスキーを始めましたが、町民スキー教室などの行事をもつと充実していけばよいのではないのでしょうか。友人や知人もできて県外から来ている人にとっては絶好の交流場になります。また、除雪も近所の人たちと協力し合えば、コミュニケーションの場にもなると思います。各家庭自



●—やまもと みつこ—●

慢の雪像コンクールなども楽しいのでは。

**西島** 舟見に建設される「ふれあい温泉」を利用して、冬場も子どもたちや大人にも来てもらえるよう、歩くスキーなどの体力作りが出来るコースを設定してみることでも必要でしょう。

**松原** 高齢化社会を迎えた今、舟見の温泉を利用したシルバータウン構想も夢があると思います。

富山県は薬のイメージが強く、富山医科大学と提携して、人間ドックの設備を兼ね備えた施設を整備することもできます。最近、人気のある公営保養所クアハウス例もあることですし、将来、厄年になったら富山県の舟見へ行つてくるといふことも考えられますよ（笑）。

**中藤** どうしても冬場は仕事もなく、家に閉じ込めがちになるお年寄りが多くなります。そういった意味では、医療設備の整ったシルバータウンは魅力的ですね。



▲にぎやかな対談でした。

若い人たちにも利用されるようになれば最高だと思います。

**松原** 利雪とか親雪とか言つても、「では雪を何に利用するのか」と聞かれると、みんな分からないと思います。21世紀になつても雪は降るのだから、今できることはいかに雪と慣れ親しむかということしか考えられません。

**山本** 子どもたちが雪ダルマを作っている風景もあまり見かけませんね。私自身、かまぐらの作り方も知りませんが、雪上カーニバルなどを企画してほしいです。最近、子どもたちが雪と遊ばなくなった原因の一つには、親の責任もあるのではないのでしょうか。風邪を引かないかとか心配すぎて、過保護になっていることも事実でしょう。





●—なかとう やすとし—●

**中藤** 小さいときから雪に慣れ親しむことは子どもにとっていい情操教育になるはず。ただ、富山県の人たちは、子どもはよく勉強するし、大人はよく働くため遊ぶ余裕のないのが残念です。本来ならば、もっと雪に親しむ機会があるはずなのではないでしょうか……。

**町長** 昔の方がまだ雪に関してのゆとりを持っていたようです。私の小さいころは地域の人たちと一緒に除雪作業に汗を流した記憶があります。

町では58年から地域ぐるみの除排雪に役立ててもらったため小型の除雪機械を購入し、地域の人たちに貸付しています。現在は入善、上原、横山、小摺戸、舟見地区で運営されており、行政では手の届かない道路を除雪していただいています。今年からは新屋、棚山地区にも除雪機械を配置することになります。

**西島** 農村部と市街地では除雪機械の種類を変える必要もあります。雪を飛ばすロータリーの機械



だと市街地では使いにくいですが、全地区に配置していくことも大切だし、効率良く使用する方法を地区ごとに話し合っていくべきでしょう。日曜日に子どもから大人まで、地域総ぐるみで除排雪していくことも考えていかなければなりません。

## 望まれる長期的な雪対策

### 雪の特性 利点を生かす

**西島** 雪という点、ほとんどがサービスマンの第3次産業に使われていますが、製造や加工など第2次産業に利用できないものでしょうか。食物を冷凍するのに雪を使うようなことは考えられません。

**中藤** 確かに雪を利用するといふと、すぐ観光かスポーツ面を連想して、どちらかというと遊び的な要素が強いです。雪国では昔から、雪解け水を利用した水力発電や、掘り抜き井戸などに使われているぐらいですね。今までのやり方だけではいけないと思います。これからは雪を利用した研究開発が重要になってくるでしょう。富山県で研究開発型の産業を起こせば、勤勉で優秀な人材を県外へ

**松原** 福井市では今年から、1当たり2万円の除雪協力金を出しているそうです。1月何日は除雪デーに決めて、みんなで除雪をすれば日ごろからおつくうになっている除雪も一味違って、楽しいものになるかもしれません。

出すこともなくなり、人材を定着させることもできます。

**松原** 富山空港も整備されて、東京までは1時間もあれば行ける時代になりました。製造分野は東南アジアの各国が盛んに力を入れてきていますし、日本、とりわけ富山県はソフトウェアの研究に力を入れていく時期を迎えています。テクノポリス、富山ならではの雪産業を起こしてみたいのです。

**司会** 先ほどから雪を積極的に利用しているという話になっていますが、そういった視点に立ち最後に一言ずつ、ご意見・ご要望をお聞かせいただきたいのですが。

**中藤** 除雪費用にたくさんのお金をかけていても、春になると何も残りません。そのため、短期的な雪対策と長期的な雪対策を考え、何らかの形で目に見えるような施策を望みたいです。雪の問題は逆に、私たちにいい問題を投げかけ

ているのではないのでしょうか。

**西島** 県が「無雪害都市づくり」をしているのなら、町は「無雪害農村づくり」を計画してほしいと思います。消雪方法は地下水に頼るだけでなく、川水も利用してみてはどうでしょうか。地域ぐるみの除排雪についても、オペレーターを新潟県などの先進地へ派遣し運営方法などを学ぶようにしてもらいたい。

**山本** 地域で話し合いの場を持ち、お互いに除雪を通して協力することの必要性を考えていくことが大切でしょう。

**松原** 全国に先がけた「無雪害都市にゆずせん」を目指していきたいですね。雪をいやな問題と思わず、遊び心を持っていけば、別の形の発想も生まれると思います。

**町長** 貴重なご意見、誠にありがとうございます。雪を克服することでも大事ですが、雪に親しむことにも力を入れていきたいと思っています。この座談会が町民ぐるみ地域ぐるみで雪の問題を考えていくというきっかけになれば幸いです。

雪に関するアイデア、工夫をみんな考えて、役場企画係にお知らせください。

# みなさんの声を行政に

## 町政懇談会の報告

町民のみなさんの声を直接町政に反映させようと、「町政懇談会」が11月5日から25日まで各地区で開催されました。この懇談会は、地区が抱える町への要望・意見を伺い、新年度予算に反映させるために開かれています。

各地区で出された意見・要望から主なものを取り上げ、町の対応策と併せて紹介します。

### 入善地区

#### ▼入善小学校の改築を早く

63年から改築するよう検討している。教育問題審議会の答申では「入善・柵山・横山を2校に」ということだが、現状では単独校として建設したいと考えている。老朽部分が少いので補助金はあまり期待できない。

昨年500坪を購入し、現在7600坪の敷地であり余裕があるとはいえないが、周辺に空地がないので拡大の見込みはない。

今年度、建設調査費を計上し調査研究を進めている。

#### ▼中央通り線の早期着工を

中央通り線は昭和27年に計画され、30年以上経過している。町としても63年度から着工したいと考え、県と事務的な折衝をしている。今年度は事業認可のための調査を、駅前から中町の間で県と合同で行っている。

計画では、延長900m、幅員16mを予定、工事は県施行で行い事業費は22億円（町費5億6千万円）を見込んでいる。

### 上原地区

#### ▼上青小学校にプールの設置を

来年度に着工の予定である。設置場所は北側とし、プール本体を3層程度棟上げし、プールサイド下を駐車場や物置きとして活用できるよう、立体的で多機能なものにしたい。このことにより、設置場所の狭さや日照不足などの問題も解決できるものと考えている。

#### ▼吉原海岸の保全を

建設省直轄の海岸で、現在まで防波を目的に直立堤の海岸保全を行ってきたが、海と人間との関係を深め、景観を高めるために海岸保全の見直しが求められている。朝日町の赤川海岸にある緩傾斜堤の設置を、入善町でも要望しており、漁業に係る所から手掛けていきたい。

### 青木地区

#### ▼除雪計画と消雪対策について

民家の密集している宅道については、地区及び個人で除雪するよう対応してほしい。お年寄りの1人暮らしあるいは母子家庭などの宅道については、民生委員の人たちの協力により、優先的にやりたい。

#### ▼上青小学校の通学路の整備を

東坪地内の通学路は、61年度で物件及び用地買収を完了する予定であり、62年度より3か年で改良し、2か年で舗装する予定。古い路肩の修理については、現地確認のすぐに対応する。また、東狐・柴垣線の拡幅整備は、柴垣・邑町線の完了した時点で検討したい。

### 飯野地区

#### ▼地下水の有効利用と計画は

52年の通産省調査では、安全揚水量は日量38万リットル、60年の調査では22万リットルと報告され、年々減少しているようだ。水は有限であり、貴重なものである。おいしい水を後世に残すため、水の有効利用について1市3町で協議会のようなものをつくるよう呼びかけたい。

水公園は下飯野地内で計画しており、来年度に整備する。

#### ▼青少年の海外派遣や、海外との友好・親善などの計画は

オレゴン州のフォレストグローブ市にある工場と、富山日本電気が技術提携し、技師の相互交流を行っている。議会とも相談し、友好都市締結の方向で検討したい。北海道の雨竜町は入善町出身の移民が多く、現在ライオンズクラブが友好締結をする予定。

海外派遣については2年に1回ぐらい実施したいと考えており、来年度は韓国への派遣を検討している。



## 小摺戸地区

▼小摺戸地区中央公民館の建設を

——町内にはいろんな形で施設が設置されている。設置目的が重複している施設の建設には国からの補助金は受けられず、町単独での建設は財政的に困難である。南部コミュニティセンターの増築は自治省の承認が必要であり困難だが、利用しやすいように部分的な改装については充分検討努力したい。

▼町総合病院の建設について

——病院建設にかかる費用は、一床当たり1000万円、財政的に建設は不可能である。総合病院は朝日、黒部にもあり、小規模病院を建設するよりも町民の受ける医療内容から考えると朝日や黒部を利用した方がよいと思う。

## 横山地区

▼海岸地域の環境整備は

——人間と海とのかかわり合いを強めた国土保全を考える必要がある。そのためには、緩傾斜堤を設置したり、堤防を利用したサイクリング・ロードや防潮林を整備したりするよう検討していきたい。防潮林などは用地買収の問題もあり、地元との協力をお願いしたい。

▼横山小学校の施設整備と教材の充実について

——新校舎と旧校舎の格差が出ないように十二分に配慮していきたい。どこを先に整備するかということだが、地元の意見がまとまった所から着手していきたいと考えている。子どもたちの将来を考えて一番良い方法をとるべきだと思う。

## 新屋地区

▼転作について

——来年度、町の配分面積は75万㎡前後になるだろう。良質米生産地である当町としても、地区にあった適地適作物を検討していくべきである。又、早期配分と合せて、各県間及び県内の不均衡配分の是正を国・県へ強く要望していく。

ポスト第3期計画が確定した段階で、関係機関と協議しながら、面積配分を検討したい。

▼南部中学校の設立を

——学校問題は、行政サイドで強制するべきものではなく、将来の学級数、生徒数など総合的に判断しながら教育効果が最も上がるよう考えていかなければならない。長期的な計画で地区民と協議しながら充分な検討が必要である。

## 舟見地区

▼舟見山の開発整備計画は

——六谷線は1、2号線と進んでおり、熊坂トンネル前の道路も整備している。奥中野線は来年度から5か年計画で着手する予定。舟見山自然公園の整備には2000万円を計上している。また、負釣山を町民の山として開発していく方針で今年度は調査費に100万円を計上した。

▼町民ふれあい温泉の建設について

——9月議会でもリハビリテーションやふれあいの場として町民のみなさんに利用してもらう「町民ふれあい温泉」を建設するため、5000万円を計上、舟見寿楽苑の西隣に建設する予定にしている。議会ともよく相談しながら、温泉掘削業者と交渉していきたい。

## 栲山地区

▼小学校の入学区域の範囲は

——栲山地区内に住宅が数多く建設され、通学区の範囲決定が難しくなっている。本人の希望もあり、同地区でも通学区が異なる場合がでてきている。今後、町内会所属を判断基準として、関係区長と協議しながら通学区域を決定していきたい。

▼県道小杉・栲山新線と8号線との立体交差について

——交差点の立体化については交通の量など一定の基準があり、その基準に合えば認可されるだろう。63年度の建設費5か年計画に組み入れるとの回答を得ている。町でも建設費へ要望していきたいので、地元での協議をお願いしたい。

## 野中地区

▼印鑑証明や戸籍抄本等の取り扱いを本庁でも受付してほしい。

——現在舟見支所での取り扱い数は約3600件。1つの方法として原簿を本庁に置き、FAXなどで支所に電送する方法が考えられるが、年間200万円余りの予算が必要で、財政的には困難である。今後どのような方法がよいか検討していきたい。

▼新農村地域定住促進対策事業を縮小して受けられないか。

——標準事業費が2億6000万円、国が $\frac{1}{2}$ 、県が $\frac{1}{10}$ の助成であり自己負担が $\frac{9}{10}$ 、約1億円になる。融資制度を受けることもできるが、8000万円借り入れ、2000万円即時負担しなければならない。事業費は最低でも2億円程度でないと認めてもらえず、4か年で実施しなければならない。





# ふるさとの味



ふるさとの味は今月号で最終回を迎えます。来月号からは新しい企画を予定しています。1月から12月までこの欄に登場していただいたみなさん、ありがとうございました。

最終回は、常備食を取り上げてみました。

名称	保存法	季節
しその実の袋づけ	しその実の穂先をつみ、熱湯をくぐらせ、布袋に入れてみそ漬にする。	秋
千枚漬	大かぶをうす切りにし塩漬し(1週間位)そのあと水切りして、短ざく切り、昆布やうす切人参と共に三杯酢につけこむ。	冬
よらは漬	大根、人参、切りこんぶをうす塩し、三杯酢であえてたべる。酒のつまみによく作られる。	冬
野菜の奈良漬	白瓜、きゅうり、なす、人参などを塩で重石をして下漬し、水気をきって、酒かすに並べて漬ける。	一年中
大根の丸漬	大根を丸のまま葉と共に生のまま重石をして塩漬する。	冬
大根のぬか漬	大根を丸のまま葉と共に干し、二つ折にまがらうようになって、米ぬかと塩を合わせて、重石をして漬込む。	冬
梅干	春に採った梅を塩につけておく、しその葉を一度塩でもみ、よくしぼり、次に梅のつけ汁でよくもみ、汁ごと梅にかけ、重石をして涼しい所におく。	初夏
きやらき	野ぶき 800g、しょうゆ 120g、さとう大さじ5、さんしょうの実、野ぶきの皮をむき2センチ位の長さに切り、一晩水につけてさらす。調味料を入れて弱火で2時間位煮る。汁気がひいたらさんしょうの実を入れてから炒りする。	秋

「キヤッツ」「ウエストサイド物語」、芝居では「ロミオとジュリエット」なども紹介しています。

富山県の影響は

岩淵 富山にはよく公演に来ます。どこの市町村も施設が大変立派で驚きますね。富山のます寿司が好物なんです。

坂本 冬の時期にしか来ていないのですが、海と山が両方あっていい所だと思います。北国と南国では子どもたちの性格も違っています。富山の子は恥ずかしがり屋が多いと思います。

これからの抱負を

岩淵 今日のリニューアルは未来の話ですが、現代の学校体質を鋭く描いています。子どもたちの1つの思いになれば最高です。

坂本 人を愛することが大切だということをおぼえてもらえればいいですね。大人にもぜひ見てほしいのですが……。

## 図書館に新しい顔 道祖神が設置



町民会館の図書館玄関口にかわいらしい道祖神が12月13日、お目見得しました。

道路の守り神になるこの石像、高さが40センチで重さが約30キログラム。寄付した一島宗吉さん(下飯野・58歳)は「県の石工作品コンクールに出品した作品で、男女の像が彫っています。図書館にきたときに目に入れてもらえればうれしいですね」とにこやかに話します。

カメラ・とびくす カメラ・トビックス カメラ・とびくす

入今舟一横神東横芦小住	膳江見宿山沢狐山崎杉所	柚長桑佐佐荒野佐浅前	木原晶竹藤田坂藤倉田	賢一やい成栄宗ハル順ツギ氏	64 88 71 86 73 63 82 73 53 59	舞まつ義宗松本信夫	子あ孝雄雄夫	(12月5日受付分まで)	年齢世帯主
-------------	-------------	------------	------------	---------------	-------------------------------	-----------	--------	--------------	-------

おくやみ



富山室内合奏団

# 新春コンサート

## ヴィバルディ作曲「四季」を演奏



### 1月25日に公演

#### 入中1年 佐藤君も出演

#### 〈作品解説〉

#### ●四季

イタリアの大作曲家ヴェルディの作品。彼はヘンデルやバッハなど後のロマン派の音楽家たちに大きな影響を与えており、この作品はクラシックで最も人気のある曲として有名です。

「四季」という名前と呼ばれる理由は、4つの曲にそれぞれ春、夏、秋、冬という題がつけられているからです。また、この作品はヴィバルディが大自然に対する愛と喜びを歌い上げた「田園協奏曲」ともいわれています。

#### ●富山室内合奏団

昭和44年に創立。常任指揮者は大沢和夫氏。年1回の定期演奏会や各種の特別演奏会の他、吹奏楽の名門、県立富山商業高校と共に構成される富山県青少年オーケストラのメンバーとしての活動も盛んで、県芸術祭、県民劇場、山村への巡回県民劇場など定着した活動、更に外国（韓国、スイス、フイリピン）への親善公演も行っています。また、全国の弦楽演奏会に参加したり、内外の演奏家との共演もしばしば行って、高く評価されています。



## 募集

#### 新春将棋・囲碁大会

▼将棋：1月11日(日)▼囲碁：1月18日(日)▼時間・会場：いずれも午前9時から入善町民会館2階和室  
▼参加費：一般1000円、小学生以下500円(昼食代含む)  
▼その他：入賞者には賞状と賞品を贈呈します。

#### 町民スキー大会

▼期日：1月25日(日)▼時間：午前9時受付▼会場：宇奈月スキー場  
▼種目：大回競技▼出場資格：町内在住者(小学生の部は5年生以上)▼申込み：1月19日(月)まで社会体育係へ。☎72-1100内線613

#### 町民スキー

#### レクリエーション

◎初心者から上級者まで楽しく滑るため、クラス別のスキー教室を行います。▼期日：2月4日(水)▼場所：県営グンドラスキー場▼時間：午前7時に役場からバスで出発▼参加費：1500円、昼食・リフト券は各自負担▼定員：50名(児童・生徒は除く)▼申込み：1月30日(金)まで参加費を添えて社会体育係へ。スキー教室のクラス別(上・中・初級・初心)も申し出て下さい。



# 善意の窓

あたたかいご芳志に感謝いたします。

入善町善意銀行（敬称略）

## ◆社会福祉事業資金

（11月13日～12月11日）

	オルフェスクラブ入善一同	円	
新屋	寺崎武秀	50,000	母つやの米寿を祝って
	入善町農協組合長 大角秀尚	67,460	第12回農業祭福祉コーナー売上金を
入膳	上原和夫	50,000	亡妻正子の供養として
"	裏千家 観音寺和楽会	50,000	歳末たすけあい義援金として
"	裏千家 荻浦宗勢社中	30,000	チャリティー茶会の収益金を
"	入善駅前郵便局	8,652	愛の募金箱より
"	入善町米消費拡大推進協議会々長 柚木春雄	20,814	農業祭「米まつり」収益金を
們山	常福寺仏教婦人会	20,000	歳末たすけあい義援金として
春日	西田憲治	30,000	亡母よしの供養として
	フクザワヒサアキ	1,127	
入膳	匿名	20,000	10月～11月分
"	入善高校生徒会	30,000	歳末たすけあい義援金として
舟見	農協 舟見支所	4,463	愛の募金箱より
横山	婦人部横山支部 (代)荒木サキ子	15,845	不用品交換の収益金の一部

## ◆新川むつみ園へ

	養照寺住職小野常正 門徒一同	円	
入膳	田中賢重	20,000	お米一握り運動として
田中	田中賢重	50,000	

## ◆舟見寿楽苑へ

	浦山新 浦滝政司	円	
浦山新	浦滝政司	100,000	亡母あやの供養として
福島	福沢つや	50,000	
木根	4.5.6グループ (代) 川原恵美子	20,000	
田中	田中賢重	50,000	

# 告知板

## アマチュア無線技士の国家試験

受験申請書受付期間	試験の期日	
	電話級	電信級
2月2日(月)～ 2月25日(木)	4月1日(火)～ 4月3日(金)	4月7日(火)
6月1日(月)～ 6月25日(木)	8月19日(火)～ 8月22日(土)	8月18日(火)
9月1日(火)～ 9月25日(金)	11月11日(火)～ 11月13日(金)	11月10日(火)

1. 受験地 金沢市
2. 受験手数料は 2,060円です。
3. 受験申請書提出は郵便番号920 金沢市広坂1丁目 9-15 石川郷友会館内 無線従事者国家試験センター北陸支部です。
4. 詳しいことは、0762-22-2929へお問合せください。

## 新期学卒者の募集 黒部高等技能学校

1. 募集科目及び募集人員 機械科 20名
2. 募集期間 昭和62年1月20日(火)から  
昭和62年2月9日(月)まで
3. 選考日 昭和62年2月27日(金)午前9:30
4. 選考科目 国語、数学及び面接
5. 合格発表 昭和62年3月6日(金)午前10:00
6. 応募手続 入校希望者は最寄りの公共職業安定所へ申し込んでください。

※詳しくは最寄りの公共職業安定所あるいは当校へ

黒部市荻生3200番地  
富山県立黒部高等技能学校  
☎52-0251

## お知らせ

1. 市計画課 ☎72-1100 内線34  
置がとられます。連絡先は役場都
- 悲惨な建築災害や居住環境の悪化を防ぐため、建築工事は必ず建築確認を受けてから工事に着手しましょう。(増築の場合は10平方メートル以上、新築の場合はすべて。その他改築、移転の場合も) 違反建築物に対しては罰則の措置がとられます。連絡先は役場都

違反建築を  
追放し  
住みよい街づくり



検査審査会は、国民の中からくじで選ばれた11人の検査審査員が犯罪の被害者等の申立て、または職権で検査官の不起訴処分のようにあしを審査するところです。

あなたも検査審査員に選ばれることがあります。選ばれたら国民の名誉ある義務として協力しましょう。問い合わせは、魚津検査審査会 ☎22-0160 へ。

ごぞんじですか  
検査審査会



案内

□テクニカル…技術的な。学術の。専門の。テクニカルタームという、術語、学術用語のこと。

# 私たちの広場

「滑って、転んで、初笑い」

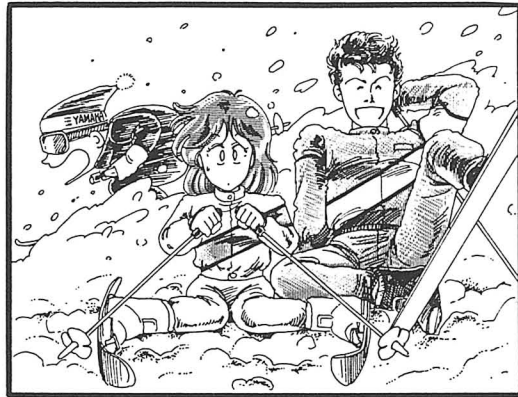


イラスト  
泉 裕子さん  
(上野・20歳)

ご意見などを

お寄せください

この広場は——

●ご意見 ●イラストやマンガ ●グループの紹介 ●私の趣味……などに利用したいと考えます。

紙上匿名は自由ですが、原稿には必ず住所・氏名を明記してください。

広報担当係 ☎72-1100

内線 203



## 水産業に貢献

野さんです。  
長年サケ・マス漁業に従事し、漁労技術や漁場開拓、後継者の育成に努力したことが高く評価されたもので、「当日は全国から沿岸漁業や内水面、水産加工の関係者

「これでも社会に少し貢献できたのではないかと思います」と謙虚に話す伊野さん。  
水産業に長年携わり業績のあった人を表彰する、全国では最も權威ある(国)日本水産会主催の水産功績者として表彰を受けたのが伊



伊野清作さん

38名が受彰しました。やはりうれしかったですね」と笑います。  
「戦前は、石川県・木村や砂利を船で運搬する父親の仕事を手伝っていました。サケ・マス漁業を始めたのは終戦後で、当時は期待

昭和24年からサケ・マス漁業に従事し漁労技術や漁場開拓に長年努め、現在、飯野漁協副組合長、飯野定置組合長。昭和59年には県農林漁業功労を受賞。芦崎4区・73歳。

「捕る漁業から育てる漁業への転換期を迎えており、今後一層、作り育てる漁業に力を入れていかなければなりません。食卓から魚が消えることは考えられません。きれいな川や海で、魚が住める状態になれば最高ですね。」  
友だちと酒を飲むのが趣味だという、はつらつとした伊野さんです。

と不安が入り交じっていました。昭和30年代、40年代のサケ・マス漁といえば無制限だったので、景気は良かったですよ」と、当時を懐かしみ目を細める伊野さん。  
「日ノ漁業協定後はサケ・マス漁の規制も厳しく、国際的な問題になっていきます。今の仕事をやるわけにはいきませんし、全国の漁業関係者と協力してがんばっていくつもりです」。

## スームアップ

### 自然保護が大切

黒部峡谷のナチュラリスト



全国から訪れる観光客に、雄大な黒部峡谷の自然を紹介したり、自然保護の重要性を説明したりするナチュラリスト59人が、11月7日に誕生しました。

入善町からも4人がナチュラリストに選ばれ、今年から樺平に建設されたビジター・センターを拠点に活動する予定です。

野坂義政さん(君島・34歳)は「ナチュラリストになったのは、黒部奥山の自然を保護したかったからです。動植物の生態や地形、黒部川の歴史をたくさんの人たちに理解してもらいたいですね。この次に来られたとき、また指名してもらえれば最高でしょう」と意欲を燃やします。



## グループ登場

## みんなで海外旅行へ

## 英会話教室

「グッド・イブニング、エブリバディ（みなさん、今晩は）。町民会館の2階第3研修室で、毎週木曜日の夜、聞かれる言葉です。7月から開かれていた町主催の英会話教室が終了、10月からは会員が自主的な活動を始めました。メンバーには高校生、主婦、会社員など男女あわせて17名がおり、さしずめ外国にいるような雰囲気漂います。会員の1/3は海外旅行



やアメリカに滞在していたこともあり、土地柄を交じえたエピソードに花が咲くこともあります。勉強の内容は、ラジオ英会話話テキストなどを使い、お茶を注文したり、電話で応対したりする実生活に関連したもの。お互いに発音方法や抑揚のつけ方などを指導し合って、実戦に役立つ英会話を会得しようとしています。

「国際社会を迎え、外国人と接する機会が多くなってきたので、英会話を学ぼうと思いましたが、授業で学ぶ英語より、役に立つ英語を学びたい」「何といても外国へ行きたいから」と、入会した理由は様々。

「どうしても日本語を、うっかり使いますね。この部屋に入ったら英語しか話さないようになれば理想的なんですけど……」と話す幹事の室さん。

「みんなで海外旅行にいきたいですね。日ごろ鍛えた英語がどれだけ通じるのか楽しみです。町のパンフレットを和文英訳することもあるんですよ」と、会員のみなさんは元気一杯です。

## 国体に10回連続出場



「先生また国体に出るの。あまり練習していないのに大丈夫かなと、子どもたちから冷やかされるんですよ」と苦笑いする小山さん。12月6日、小山さんは県体育協会の表彰式で、アジア大会の水泳に出場した河原泉さんや、国体で有名になったインテックボート部

とともに表彰を受けました。小山さんはスキートのアルペン競技大回転の部で国体に10年間連続して出場、その努力と功績が認められたものです。

「表彰されたということは、もう引退しなさいということですかね（笑い）。4～5年前から今年こそは引退しようと思いつけながら今日に至っています。国体の競技は成年A（22～26歳）B（27～34歳）C（35歳～）に分かれており、来年はCの部で一番若くなりますから、良い成績を残したいと思っています。」

「います。」糸魚川市出身で、子どものころからスキーに親しみ、高校、大学とスキー部に在籍。大学のころは毎朝5時に起き、練習していたとのこと。「年間200日はスキーをしていました。1日に50キロ走られることもありましたね。練習は厳しかったですよ」と懐かしそうに話します。

「宇奈月中学校に赴任したのが10年前。当時はスキー部もなく、スキーは冬にするものだという意識でした。5年後にスキー部を結成したときはうれしかったですね。」現在の部員は36名。生徒たちにアルペン、クロスカントリー、ジャンプの3種類の競技を指導しています。県内ではトップクラスの力を持っていますが、やはり全国大会に通用する選手がでてこない……。県外の大会などにどんな出場させ、技を磨かせる必要があると思います。」

「どんなスポーツでも、ジュニアからの養成が大切です。金よりも人が要するため、指導者の育成が何よりも必要です。行政、学校、父兄の協力が望まれますね」と、目を輝かせる小山さんです。

スキーが人生

# 今月の さわやかさん

No.37



能登志起乃さん

サンルート魚津内アベニュー・クラブ勤務  
(入善10区・19歳)

新川女子高校を卒業し、昨年の4月にジーンズやスポーツカジュアルを売る洋服店へ就職しました。

人と話しをするのが好きで、会社員になるよりも直接、お客さんと接することができる職業にあこがれていたんですよ。しかし、見た目は華やかでおもしろそうに思われがちですが、接客はやはり難しいですね。一番うれしいのが、自分で展示した洋服を欲しいとお客さんに言われたときです。ファッション雑誌を読んだり、他の店へ行って展示の方法を見たりしてファッション感覚を磨くように努力しています。

スポーツは大好きで、中学と高校時代はソフトボール部に在籍していました。高校時代の厳しい練習の中から、耐えることの必要性和チームワークの重要性を学ぶことができたと思っています。

理想の男性はやさしくて、身長が高い人。目のきれいな人にあこがれています。

▽米谷ふみ子 過越しの祭  
直木賞  
上半期(第94回)  
▽森田誠吾 魚河岸ものがたり  
▽林真理子 京都まで  
最終便に間に合えば  
下半期(第95回)  
▽皆川博子 恋紅  
谷崎潤一郎賞(第22回)

▽北杜夫 輝ける碧き空の下で  
文芸部門  
▽野上弥生子 森  
《学芸部門》  
▽角田忠信 脳の発見  
▽NHK取材班 21世紀は警告  
大佛次郎賞(第13回)



夏の故郷

山田太一

夏

文芸春秋

興亡と夢4 堤清二、辻井喬

雨彦のにんげん四季報 青木雨彦

現代アフリカの悩み 小倉充夫

「法隆寺日記」をひらく 高田良信

夜

津島佑子

回

中里恒子

哀

五木寛之

瀟

水上勉

ふ

立松和平

大

石川英輔

神

深田祐介

新

落合恵子

大

阿

落合恵子

大

## あなたと図書館

## ぜひ、一読を

## 文学賞の受賞作品

昨年の文学賞受賞作品を、すでにお読みでしょうか。

参考までに主な作品を紹介し、今年も素晴らしい本との出会いを期待します。

芥川賞

上半期(第94回)

▽米谷ふみ子 過越しの祭

直木賞

上半期(第94回)

▽森田誠吾 魚河岸ものがたり

▽林真理子 京都まで

最終便に間に合えば

下半期(第95回)

▽皆川博子 恋紅

谷崎潤一郎賞(第22回)

▽日野啓三 砂丘が動くように

吉川英治文学賞(第20回)

▽藤沢周平 白き瓶

▽井上ひさし 腹鼓記、不忠臣蔵

江戸川乱歩賞(第32回)

▽山崎洋子 花園の迷宮

日本文学大賞(第18回)

《文芸部門》

▽北杜夫 輝ける碧き空の下で

《学芸部門》

▽野上弥生子 森

《学芸部門》

▽角田忠信 脳の発見

▽NHK取材班 21世紀は警告

大佛次郎賞(第13回)

▽井出孫六 終わりなき旅  
▽加賀乙彦 湿原(上・下)  
大宅壮一ノンフィクション賞(第17回)

▽杉山隆男 メディアの興亡

野間文芸賞(第39回)

▽大庭みな子 啼く鳥の

▽上田三四二 島木赤彦

日本推理作家協会賞(第39回)

▽岡嶋二人 チョコレート・ゲ

▽志水辰夫 背いて故郷

▽松村喜雄 快盗対名探偵

女流文学賞(第25回)

▽杉本苑子 穢土莊嚴

日本SF大賞(第7回)

▽かんべむさし 孤冬黙示録

## 新着図書案内

小説

神鷲(ガルーダ)商人(上・下)

大江戸仙境録

アールン・アゲイン

ふたつの太陽

瀟陽の月

哀しみの女

回

夜

現代アフリカの悩み

「法隆寺日記」をひらく

雨彦のにんげん四季報

興亡と夢4

堤清二、辻井喬

青木雨彦

三好徹

文芸春秋

山田太一

## 今月の人口

人口	30,056(-10)
男	14,377(-3)
女	15,679(-7)
世帯数	7,742(-1)
( )内は前月比	
11月末日現在住民登録	

## 編集室

▼アメリカン・フットボールの大学日本一を決める甲子園ボウルで、素人集団として有名な京都大学が日本一になりました。京大からは富山県高岡高校出身の東海君と屋敷君が出場。チーム優勝の立役者になりました。

▼2人のプレーは正に自由奔放。監督の手腕もさることながら、自分の長所を伸ばしつと発揮し、忍耐強く消極的と言われる県民性を明るくさわやかなプレーに変え

3万6000人の観衆にアピールしていたような気がします。

▼スポーツだけでなく、一般社会で日本人はとく短所ばかりを指摘がち。非難することは上手でも

相手のほめ、その長所を伸ばすこととの上手な人になかなか出会えないものです。

▼新年の抱負を聞かれると「自分の長所を伸ばし、相手の長所をほめるようにしたい」と答えたのですが……さて、みなさんはいかがでしょう。